



# 穿刺時疼痛に対する エムラクリーム<sup>®</sup>の有用性

○三宅良尚<sup>1)</sup>,永易由香<sup>1)</sup>,亀田康範<sup>1)</sup>,福富愛<sup>1)</sup>,中村寛子<sup>1)</sup>,川口真弥<sup>1)</sup>,井元暢子<sup>1)</sup>  
藤井恵子<sup>1) 2).3)</sup>,坂田良子<sup>1)</sup>,平林晃<sup>1)</sup>,桐林慶<sup>2)</sup>,高杉啓一郎<sup>3)</sup>,高杉敬久<sup>3)</sup>,頼岡徳在<sup>3) .4)</sup>

医療法人社団スマイル 広島ベイクリニック<sup>1)</sup>

医療法人社団スマイル クレア焼山クリニック<sup>2)</sup>

医療法人社団スマイル 博愛クリニック<sup>3)</sup>

一般社団法人 広島腎臓機構<sup>4)</sup>



## 背景と目的

透析治療において穿刺時に伴う痛みは大きな苦痛のひとつであり、これを緩和させることは重要である。当院ではペンレステープ<sup>®</sup>で紅斑、掻痒や痛みの軽減のなかった一部の患者に、2015年10月よりエムラクリーム<sup>®</sup>も使用している。今回ペンレステープ<sup>®</sup>からエムラクリーム<sup>®</sup>へ変更した症例において、その有用性を検討したので報告する。



# 特徴



## マルホ株式会社

リドカインを18mg/枚含有するテープ  
局所麻酔薬

穿刺の約30分前に貼付（当院では穿  
刺の1～2時間前と説明している）

1994年の保険適応から今まで多くの  
透析施設で使用されている



## 佐藤製薬株式会社

薬剤1gあたりリドカイン25mg、プロピトカイン25  
mgを含有するクリーム状の局所麻酔薬

穿刺の60分前に塗布し120分を超えないこと  
（当院では穿刺の1～2時間前と説明している）

2つの有効成分でより深く浸透することと、粘  
着剤による皮膚炎のリスクがない



# 対象

- ◆ ペンレステープ<sup>®</sup>で穿刺痛の緩和が得られなかった血液透析患者7名
- ◆ 性別：男性4名、女性3名
- ◆ 年齢：56～83歳（平均74.7歳）
- ◆ 透析歴：11ヶ月～4年2ヶ月（平均2年6ヵ月）



# 方法

1. 対象患者に対してパンフレットでエムラクリーム<sup>®</sup>の使用方法を指導し、ペンレステープ<sup>®</sup>から変更する。
2. 変更前後でアンケート調査（変更前、変更初回と2回目の計3回）を行ない比較する。

調査内容：①貼付、塗布時間

②効果持続時間

③皮膚の紅斑、掻痒の有無

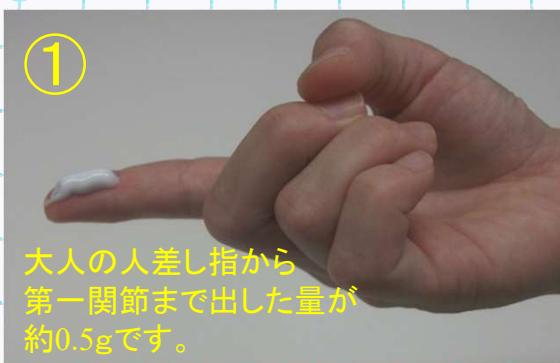
④穿刺時の痛み

（VAS；Visual Analogue Scale）





# エムラクリーム<sup>®</sup>の使用法



消毒をして穿刺

ペンレステープ<sup>®</sup>より煩雑



# ①貼付、塗布時間

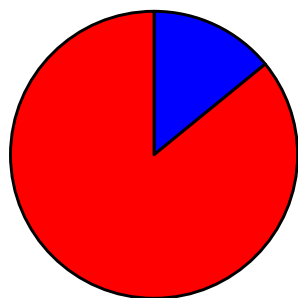
症例	ペンレステープ <sup>®</sup>	エムラクリーム <sup>®</sup>
A	90分	90分
B	60分	60分
C	120分	120分
D	60分	120分
E	120分	120分
F	90分	90分
G	120分	60分

◆ どちらもスタッフの説明通り60分～120分の塗布時間で使用していた。



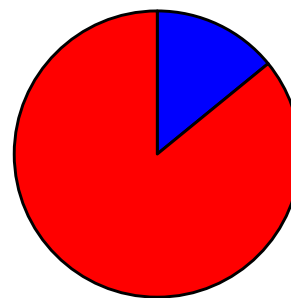
## ②効果持続時間

ペンレステープの効果持続時間



- 透析開始から数分
- 透析開始から0分

エムラクリームの効果持続時間



- 透析開始から120分でチクチクしてきて240分で効果がきれいになる
- 透析開始から終了まで240分効果あり

◆ ペンレステープ<sup>®</sup>では透析中に効果を感じていなかった全ての症例において、エムラクリーム<sup>®</sup>では持続していると回答した。





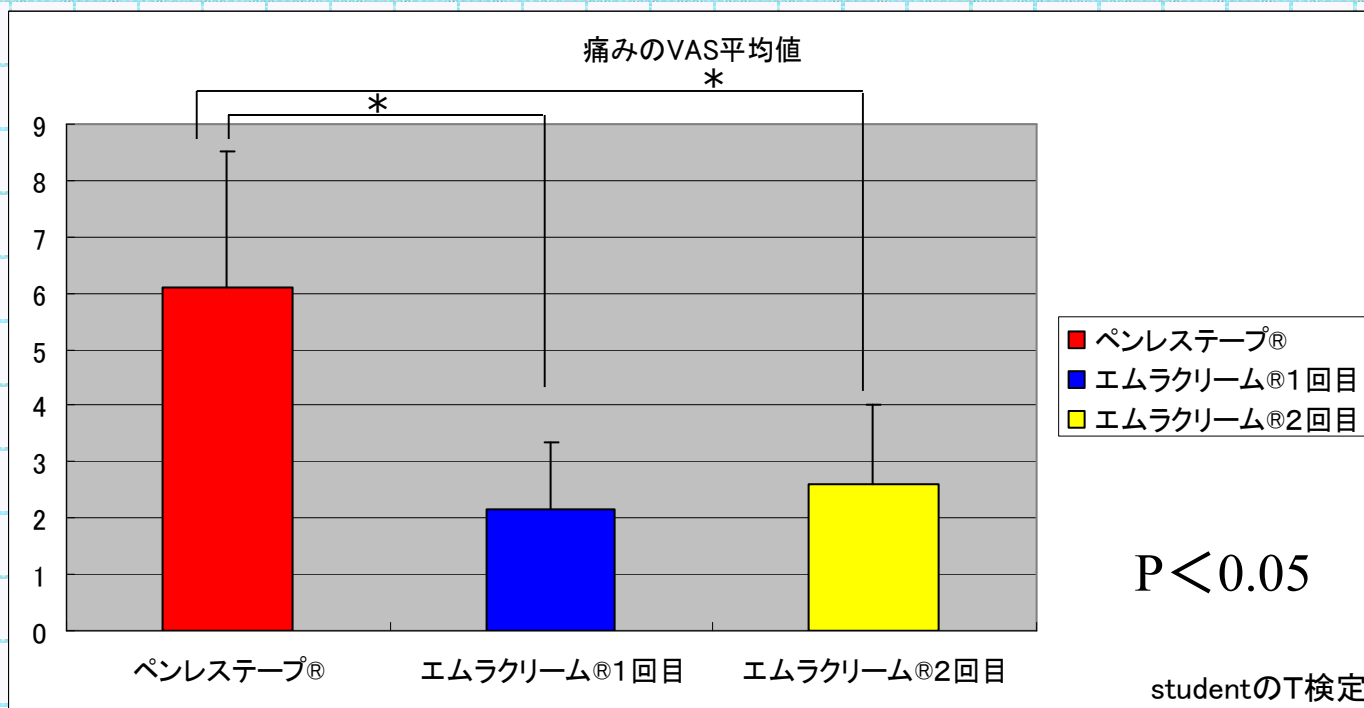
### ③皮膚の紅斑、掻痒の有無

症例	ペンレステープ <sup>®</sup>	エムラクリーム <sup>®</sup>
A	なし	なし
B	なし	なし
C	紅斑あり	なし
D	紅斑、掻痒あり	なし
E	紅斑あり	なし
F	なし	なし
G	なし	なし

◆ ペンレステープ<sup>®</sup>で紅斑、掻痒のあった症例を含め、変更後は全員問題なく継続使用できている。



## ④ 穿刺時の痛み (VAS)



◆ エムラクリーム®の方が穿刺時の痛みを有意に軽減できた。



## 考察

- ◆ エムラクリーム<sup>®</sup> は60～120分間の塗布時間で、2つの有効成分が深く浸透し、穿刺痛を緩和できたと考えられる。
- ◆ エムラクリーム<sup>®</sup> で透析中も痛みを感じなかったことから、効果の持続性があると考えられる。
- ◆ 紅斑、掻痒が現在までもないことから、エムラクリーム<sup>®</sup> は皮膚への刺激が少ない可能性がある。



## 結語

- ◆ エムラクリーム<sup>®</sup>はペンレステープ<sup>®</sup>で穿刺痛の緩和が得られない場合に有用であることが示唆された。
- ◆ 今後は皮膚の刺激症状のある症例でも使用したい。
- ◆ しかしエムラクリーム<sup>®</sup>は使用方法が煩雑であり、使用者が限定されてしまう可能性があるため今後の改良にも期待したい。

**中国腎不全研究会  
COI開示**

**筆頭発表者名  
三宅 良尚**

**演題発表に関連し、  
開示すべきCOI関係にある企業などはありません。**